

団体責任者・参加者・保護者等遵守事項

※本遵守事項は、公益財団法人日本武道館作成の『令和4年度全日本少年少女武道錬成大会 新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン』から、団体責任者・参加者・保護者等の遵守事項を抜粋して記載するものです。同ガイドラインは、当財団のホームページから閲覧することができます。

全般的な事項

- 感染リスクが高まる「3密（密閉空間・密集場所・密接場面）」を避け、長時間飲食を共にするなど「5つの場面」に注意すること。
- 宿泊も含めた大会前後での基本的な感染対策の徹底や直行直帰を心掛け、感染防止に努めること。
- 以下の事項に該当する場合は、参加を見合わせること。
 - ・体調がよくない場合（例：おおむね37.5度以上の発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる者がいる場合
 - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- マスク（品質の確かな、できれば不織布）を持参し、着用すること。なお、試合錬成中や基本（合同）錬成中については、各武道団体が定める感染対策ガイドラインに従うこと。
- 会場内にアルコール等の手指消毒液を設置するので、こまめな手指消毒や手洗いを実施すること。
- 他の参加者や観覧者との距離、最低1m（できるだけ2mを目安）を確保すること。
- 観客席で大きな声で会話をしたり、声援等を送らないこと。そのような行為をした場合には、主催者が個別に注意したり、退館処分等を講じる場合があること。
- 館内での食事は客席のみとするが、大会を入替制で実施する種目については、各種目の大会運営方針に従うこと。なお、飲食を行う場合には発声せずに、できるだけマスクを外す時間を短くするため、飲食時間の短縮に努めること。飲食後はすぐにマスクを着用すること。
- 体調がすぐれない症状（発熱や呼吸困難、けん怠感等）が表れた場合には、速やかに発熱者専用救護室へ行くか、自主的に退館すること。
- 厚生労働省から提供されている、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）や各地域で取り組まれている通知サービス等を活用すること。
※COCOAを入れている場合は、電源を入れたうえ、Bluetoothを有効にすること。
- 大会等終了後14日以内に新型コロナウイルスを発症した場合や、新型コロナウイルス接触確認アプリによって、大会等実施中に濃厚接触があったと思われる場合は、運営事務局に対して速やかに報告すること。
- その他
 - ・団体責任者・参加者・保護者等、また大会関係者等以外の上場は一切不可とすること。
 - ・団体責任者や保護者は、大会中であっても参加者の体調に気を配るように注意すること。
 - ・感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
 - ・団体責任者・参加者・保護者等の感染に対して、主催者はいかなる責任も負わないこと。

検温の実施について

- 当日、会場入口等で検温を行い、有症状（おおむね37.5度以上の発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある場合など）を理由に入場を断る場合がある。
- 来場する団体責任者・参加者・保護者等のすべてに大会14日前から大会終了7日後まで、検温と体調、行動記録を求めると。検温記入表は、各団体に事前送付し、大会当日、提出してもらうこと。